



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年1月1日号外



謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。組合員・ご家族の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止対策と寒波吹き荒れる悪天候の中「年末年始安全・安定輸送」に従事されているすべてのJ R労働者に敬意を表するとともに、日頃より家族、職場、地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。引き続き、感染防止対策のさらなる徹底をお願いいたします。

私たち東日本ユニオンは、2022年12月16日に結成9周年を迎えました。結成の理念でもある「J R労働運動一元化」にむけ、幾多の困難や試練も組合員の英知と行動力をもって乗り越え克服してきました。10月15日には新たな創造に向けて地本組織を再編し「東北地方本部」「関東地方本部」を結成しました。再編の過程では東日本ユニオンの課題が明確となりました。教訓として受け止め、今後の運動を展開していきます。全組合員が前を向き、力強く歩み続けられる一年としていきましょう！

「2022年度年末手当」は、生活していく上で必要最低限の「3.7ヶ月要求」と「年間最低6.0ヶ月以上の水準に戻す」という強い決意をもって闘いに挑みました。しかし、回答は2.4ヶ月+2万円という私たちの要求から大きくかけ離れた悔しい結果となりました。

東日本ユニオンは要求の確立から再考を求める闘いまで、労働組合未加入社員・他労組組合員の「声」を集めることに挑戦してきました。結果1,864声を寄せていただき、賛同、激励、期待、反対に至るまですべての声が大きき力となりました。すべての役員と組合員、そして声を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2022年は物価高騰が家計を直撃しました。残念ながらこの流れは2023年も続きます。賃金が物価高騰に追いついていかない状況です。今まさに雇用の確保と賃金引上げが労働組合の最大の使命といえます。岸田首相は賃金引き上げを訴え、政府・経済界主導の2023春闘をつくらうとしています。これまでに何度か「官製春闘」と言われたことがありましたが、労働者の利益は守られてきたでしょうか。政府や経済界の言動に一喜一憂することなく、期待や幻想を抱くことなく東日本ユニオンは2023春闘を闘い抜きます。そのためにも東日本ユニオンの組織拡大は必須であり、J R労働者のさらなる団結は不可欠です。年末手当の取り組みで培った組織力を2023春闘へとつなげていきましょう。

「変革2027」の実現に向けスピードの加速が増しています。すでに各地方では会社施策が実施され、問題点や課題なども明らかになってきています。J R労働者の利益を守ることを最優先にしっかりとスピード感を持って一つひとつ丁寧に施策と向き合います。同時に「ダイヤ改正」などの課題も労働組合としてしっかり地に足つけた運動を展開していきます。

2023年が組合員・ご家族の皆様にとってご健康で実りある一年であることをご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023年 元旦

J R 東日本労働組合
中央執行委員長 藤本 圭一